

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22077	事業名	学力向上推進事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長を支える環境の充実			款	10:教育費	
		施策の方向	03:希望をもって新しい時代に活躍できる子どもの育成			項	08:教育研究費	
重点プロジェクト	04:「未来へのピラ」プロジェクト		目	01:教育研究費				
事業期間	H 27 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		第3期教育振興基本計画				

担当部署	
部	教育委員会事務局
課	学校教育課 教育支援G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	<p>全国学力・学習状況調査等によって明らかになった「わかったことや考えたことなどをまとめて表現する」等の課題を解決し、児童生徒一人ひとりの学力向上を図るため、「亀山市学校教育ビジョン」「亀山市学力向上推進計画」に基づいた取組を推進する必要がある。</p>	<p>小学校及び中学校の児童・生徒・教員</p>	<p>教職員の指導力の向上と授業改善を行い、児童生徒の学力の向上と定着を図る。また、中学校への運動部支援員を派遣し、教職員の授業準備や研修の時間を確保する。</p>	<p>教職員への各種研修会の開催のほか、国語科共通テストや「かめやまっ子チャレンジ」を実施し、教職員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図る。また、中学校へ運動部活動支援員を派遣し、教職員の負担軽減を図る。さらに、「学力向上推進計画」の改訂を行う。</p>

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員への各種研修会の開催 ○国語科共通テスト等の実施 ○運動部活動支援員の派遣 ○学力向上推進計画【第4版】の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員への各種研修会の開催 ○国語科共通テスト等の実施 ○運動部活動支援員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員への各種研修会の開催 ○国語科共通テスト等の実施 ○運動部活動支援員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員への各種研修会の開催 ○国語科共通テスト等の実施 ○運動部活動支援員の派遣 ○学力向上推進計画【第5版】の策定 	
	活動実績 (計画通り実施できたか)	<p>教職員への学力向上研修会を2回開催した。国語科共通テストについて小3～小6の単元ごとに共通テストを作成し、各校当該学年で実施した。(年20回程度)運動部活動支援員として5名の登録があり、累計268回実施した。学力向上推進計画【第4版】の策定を完了した。</p>				
計画額	事業費	2,000千円	1,630千円	1,800千円	1,800千円	2,400千円
		国・県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源	2,000千円	1,630千円	1,800千円	1,800千円	2,400千円
決算額	事業費		1,266千円			
	国・県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源		1,266千円				
①期間内事業費(R4-7)		8,000千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費	-

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	1,630千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	全国学力・学習状況調査の正答率	成果	%	計画値	小学校 94/中学校 72	小学校 96/中学校 74	小学校 98/中学校 76	小学校100/中学校 78
				実績値	小学校:90 / 中学校:64			
運動部活動支援員の派遣回数	中学校への運動部活動支援員の派遣回数	活動	回	計画値	50	50	50	50
				実績値	53			
授業理解度	学校での授業を理解している子どもの割合(学校評価アンケート)	成果	%	計画値	小学校 91/中学校 88	小学校 91/中学校 88	小学校 92/中学校 89	小学校 92/中学校 89
				実績値	小学校90/中学校87.2			

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	教職員の学力向上研修会を2回開催し、指導力の向上と授業改善につなげることができた。「全国学力・学習状況調査」と「みえスタディ・チェック」の結果を分析し、課題を把握した上で各校で具体的な方策を考え、課題解決につなげることができた。運動部活動支援員を5名登録したことにより、教職員の授業準備や研修の時間が確保され、授業改善につなげることができた。学力向上推進計画を策定し、学力向上に向けた具体的な取組内容等を教職員等に示すことができた。
	十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
小学校及び中学校の児童・生徒・教員	教職員の指導力の向上と授業改善を行い、児童生徒の学力の向上と定着を図る。また、中学校への運動部支援員を派遣し、教職員の授業準備や研修の時間を確保する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	「全国学力・学習状況調査」と「みえスタディ・チェック」の結果より、「読む力、読み取る力」の領域で全国、県平均に比べて小中学校ともに平均値を下回っていることから、教員の授業力向上を図る取組をする必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの
	令和6年度以降で対応するもの
	「読む力・読み取る力」の指導を充実を図るため、学力向上推進計画【第4版】の必須の重点取組と設定し、「かめやま授業スタンダードプラン」や「よむ×よむ」等の具体的な取組を提示して、教職員の授業改善を行う。
	令和5年度の実施状況を鑑み、必要に応じて教職員の指導力向上及び授業改善に向けた措置を講じていく。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【履歴】	成果判定	A		
	事業展開	継続(現状維持)		

1次評価者	教育委員会事務局 学校教育課教育支援GL 北川 恵美子
最終評価者	教育委員会事務局 学校教育課長 武居 政敏